



2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4420 URL <https://www.esol.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝敏
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 落合 藤夫 TEL 03-5365-1560
 定時株主総会開催予定日 2021年3月30日 配当支払開始予定日 2021年3月31日
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月31日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年12月期の連結業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	9,042	△6.2	682	△8.8	909	4.9	676	2.6
2019年12月期	9,644	10.2	748	7.2	867	26.2	659	25.8

（注）包括利益 2020年12月期 748百万円（0.3%） 2019年12月期 746百万円（69.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	33.23	—	12.4	12.9	7.6
2019年12月期	32.41	—	13.9	13.5	7.8

（参考）持分法投資損益 2020年12月期 一百万円 2019年12月期 一百万円

（注）当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	7,470	5,746	76.9	282.34
2019年12月期	6,686	5,128	76.7	252.11

（参考）自己資本 2020年12月期 5,746百万円 2019年12月期 5,128百万円

（注）当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	1,062	△353	△141	4,348
2019年12月期	513	△169	△0	3,778

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年12月期	—	0.00	—	5.50	5.50	111	17.0	2.4
2020年12月期	—	1.50	—	4.00	5.50	111	16.6	2.1
2021年12月期(予想)	—	1.50	—	4.00	5.50		28.9	

（注）2019年12月期期末配当の内訳 普通配当4円00銭 記念配当1円50銭

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,387	△3.0	△4	—	211	△50.9	150	△52.6	7.37
通期	9,549	5.6	309	△54.7	536	△41.1	387	△42.8	19.01

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年12月期	21,460,800株	2019年12月期	21,460,800株
2020年12月期	1,106,925株	2019年12月期	1,119,464株
2020年12月期	20,349,964株	2019年12月期	20,341,361株

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	8,731	△3.6	624	△8.3	858	6.2	571	△8.1
2019年12月期	9,061	9.4	681	13.2	808	35.1	621	33.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	28.08	—
2019年12月期	30.56	—

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	7,277	5,665	77.8	278.33
2019年12月期	6,545	5,152	78.7	253.30

(参考) 自己資本 2020年12月期 5,665百万円 2019年12月期 5,152百万円

(注) 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年2月24日（水）に機関投資家向けオンライン説明会を実施する予定であります。この説明会の動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の縮小により、景況感が大幅に悪化し、非常に厳しい状態で推移しました。

当社グループの組込みソフトウェア事業がターゲットとして注力している自動車市場では、CASE（Connected つながる車、Autonomous 自動運転、Shared & Service シェアリングサービス、Electric 電動化）と呼ばれる領域が進展しており、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは自動車関連業界をメインターゲットと位置づけ、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。また、センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場並びに倉庫・物流業界に対しては、指定伝票発行用車載プリンタ（以下「車載プリンタ」という。）並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により、開発案件の規模の縮小、中止、開始時期の延期などの影響が出ております。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高9,042百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益682百万円（同8.8%減）、経常利益909百万円（同4.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益676百万円（同2.6%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(組込みソフトウェア事業)

当事業は、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品RTOS（リアルタイム・オペレーティング・システム）の開発・販売、受託開発を主に行っておりますが、主に自動車向けが伸び悩みました。その結果、売上高8,358百万円（前年同期比6.4%減）及びセグメント利益638百万円（同13.5%減）となりました。

また、当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は1,981百万円（前年同期比11.4%増）、エンジニアリングサービス等は6,377百万円（同10.8%減）となっております。

(センシングソリューション事業)

当事業は、冷菓・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売や、新たなセンサネットワーク関連ビジネスを進めましたが、車載プリンタ関連の販売が前年の水準に達しませんでした。その結果、売上高676百万円（前年同期比8.1%減）及びセグメント利益24百万円（同2.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は6,377百万円となり、前連結会計年度末に比べて568百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が569百万円、有価証券が205百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が177百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,093百万円となり、前連結会計年度末に比べて215百万円増加いたしました。これは主に建物附属設備が80百万円、投資有価証券が103百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,470百万円となり、前連結会計年度末に比べて784百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は1,412百万円となり、前連結会計年度末に比べて132百万円増加いたしました。これは主に未払消費税等が53百万円、未払法人税等が96百万円、前受金が28百万円それぞれ増加した一方、支払手形及び買掛金が90百万円減少したことによるものであります。固定負債は311百万円となり、前連結会計年度末に比べて32百万円増加いたしました。これは主に長期末払金が98百万円、資産除去債務が62百万円それぞれ増加した一方、役員退職慰労引当金が107百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,724百万円となり、前連結会計年度末に比べて165百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は5,746百万円となり、前連結会計年度末に比べて618百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が533百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ569百万円増加し、4,348百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において営業活動の結果獲得した資金は1,062百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益909百万円、売上債権の増減額177百万円、その他負債の増減額179百万円、減価償却費78百万円等の資金増加要因が、役員退職慰労引当金の増減額107百万円、法人税等の支払額142百万円等の資金減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において投資活動の結果使用した資金は353百万円となりました。これは主に有価証券の取得による支出199百万円、有形固定資産の取得による支出88百万円、無形固定資産の取得による支出60百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末において財務活動の結果使用した資金は141百万円となりました。これは主に配当金の支払額141百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な経済活動の減速等が引き続き懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続くと予想されます。しかしながら、自動運転やコネクテッドカーなど次世代モビリティに向けた開発はさらに進むものと考えております。

このような環境の下、当社グループは引き続き自動車関連業界をメインターゲットと位置づけ、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、自社製ソフトウェア製品を中心とした研究開発への投資を続け、さらなる成長のための事業基盤を強化してまいります。

この結果、翌連結会計年度（2021年12月期）の連結業績の見通しにつきましては、売上高9,549百万円、営業利益309百万円、経常利益536百万円、親会社株主に帰属する当期純利益387百万円を計画しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,891,502	4,461,053
受取手形及び売掛金	1,483,964	1,306,112
有価証券	—	205,006
商品	79,431	104,242
仕掛品	168,954	126,199
前払費用	137,300	116,556
その他	48,141	58,458
流動資産合計	5,809,293	6,377,629
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	199,597	315,103
減価償却累計額	△95,810	△130,318
建物附属設備（純額）	103,787	184,784
工具、器具及び備品	333,954	359,547
減価償却累計額	△271,267	△295,275
工具、器具及び備品（純額）	62,687	64,272
建設仮勘定	—	6,160
有形固定資産合計	166,475	255,217
無形固定資産		
ソフトウェア	67,849	110,960
のれん	935	—
その他	2,637	2,637
無形固定資産合計	71,421	113,598
投資その他の資産		
投資有価証券	316,664	419,717
長期前払費用	52,881	53,791
繰延税金資産	60,149	41,042
敷金及び保証金	209,830	209,904
投資その他の資産合計	639,527	724,455
固定資産合計	877,424	1,093,271
資産合計	6,686,718	7,470,900

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	460,927	370,518
未払金	266,498	278,695
未払費用	23,342	32,657
未払法人税等	105,506	201,628
未払消費税等	189,137	242,327
前受金	160,722	189,237
預り金	21,622	18,941
賞与引当金	49,238	53,275
受注損失引当金	2,760	—
資産除去債務	—	24,471
その他	—	937
流動負債合計	1,279,756	1,412,691
固定負債		
長期未払金	20,750	118,903
役員退職慰労引当金	107,894	—
資産除去債務	40,579	102,663
持分法適用に伴う負債	86,453	67,037
その他	22,990	22,990
固定負債合計	278,667	311,593
負債合計	1,558,424	1,724,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	942,093	953,635
利益剰余金	3,077,812	3,611,690
自己株式	△85,280	△84,382
株主資本合計	4,976,444	5,522,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,520	224,013
繰延ヘッジ損益	289	—
為替換算調整勘定	△960	△159
その他の包括利益累計額合計	151,849	223,854
純資産合計	5,128,294	5,746,615
負債純資産合計	6,686,718	7,470,900

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	9,644,996	9,042,716
売上原価	6,649,649	5,845,421
売上総利益	2,995,347	3,197,295
販売費及び一般管理費	2,246,782	2,514,780
営業利益	748,564	682,514
営業外収益		
受取利息	68	47
受取配当金	6,994	7,216
為替差益	3,448	432
助成金収入	102,008	201,829
その他	6,520	17,826
営業外収益合計	119,040	227,351
営業外費用		
その他	45	21
営業外費用合計	45	21
経常利益	867,559	909,844
特別損失		
固定資産除却損	498	—
特別損失合計	498	—
税金等調整前当期純利益	867,060	909,844
法人税、住民税及び事業税	175,163	245,876
法人税等調整額	32,570	△12,317
法人税等合計	207,734	233,558
当期純利益	659,326	676,285
親会社株主に帰属する当期純利益	659,326	676,285

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	659,326	676,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,332	71,492
繰延ヘッジ損益	1,153	△289
為替換算調整勘定	△470	800
その他の包括利益合計	87,015	72,004
包括利益	746,341	748,290
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	746,341	748,290

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,041,818	942,093	2,418,486	△85,165	4,317,232
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			659,326		659,326
自己株式の取得				△114	△114
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	659,326	△114	659,211
当期末残高	1,041,818	942,093	3,077,812	△85,280	4,976,444

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	66,188	△864	△489	64,834	4,382,067
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益					659,326
自己株式の取得					△114
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	86,332	1,153	△470	87,015	87,015
当期変動額合計	86,332	1,153	△470	87,015	746,227
当期末残高	152,520	289	△960	151,849	5,128,294

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,041,818	942,093	3,077,812	△85,280	4,976,444
当期変動額					
剰余金の配当			△142,408		△142,408
親会社株主に帰属する 当期純利益			676,285		676,285
自己株式の取得				△60	△60
自己株式の処分		11,541		957	12,499
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	11,541	533,877	897	546,316
当期末残高	1,041,818	953,635	3,611,690	△84,382	5,522,760

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	152,520	289	△960	151,849	5,128,294
当期変動額					
剰余金の配当					△142,408
親会社株主に帰属する 当期純利益					676,285
自己株式の取得					△60
自己株式の処分					12,499
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	71,492	△289	800	72,004	72,004
当期変動額合計	71,492	△289	800	72,004	618,320
当期末残高	224,013	－	△159	223,854	5,746,615

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	867,060	909,844
減価償却費	59,397	78,974
のれん償却額	5,610	935
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,240	4,037
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,700	△107,894
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△15,995	△2,760
受取利息及び受取配当金	△7,063	△7,263
為替差損益(△は益)	△268	△603
有価証券評価損益(△は益)	—	△5,204
固定資産除却損	498	—
助成金収入	△102,008	△201,829
売上債権の増減額(△は増加)	△55,477	177,852
たな卸資産の増減額(△は増加)	60,793	17,943
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,012	△91,720
その他の資産の増減額(△は増加)	△35,471	26,295
その他の負債の増減額(△は減少)	△141,689	179,366
その他	△0	17,442
小計	615,315	995,417
利息及び配当金の受取額	6,947	7,220
助成金の受取額	102,008	201,829
法人税等の支払額	△211,247	△142,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	513,024	1,062,222
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△2
有価証券の取得による支出	—	△199,802
有形固定資産の取得による支出	△67,260	△88,994
無形固定資産の取得による支出	△44,315	△60,533
投資有価証券の取得による支出	—	△7
敷金及び保証金の差入による支出	△66,404	△26
預り保証金の受入による収入	13,014	—
その他	△4,074	△4,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△169,044	△353,441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△114	△60
配当金の支払額	—	△141,471
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114	△141,531
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	2,298
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	343,924	569,548
現金及び現金同等物の期首残高	3,434,658	3,778,582
現金及び現金同等物の期末残高	3,778,582	4,348,131

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響の下、経済活動の縮小により景況感が大幅に悪化し、景気先行きは不透明となっております。

本影響は、会計上の見積り項目のうち、主に固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性に関連しますが、本影響が一定期間継続するとの仮定に基づいて見積りを行った結果、当連結会計年度末における会計上の見積りに与える重要な影響はないものと判断しております。

ただし、これらの見積りには不確実性が含まれるため、予測不能な前提条件の変化等により見積りが変化した場合には、結果として将来に追加で費用または損失を計上する可能性があります。

(セグメント情報)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別に事業部を置いておりますが、取り扱う製商品・サービスについては、事業部を超えて顧客市場別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

このように、当社は、「組込みソフトウェア事業」、「センシングソリューション事業」の2つを報告セグメントとしております。

「組込みソフトウェア事業」は、主としてRTOS（リアルタイム・オペレーティング・システム）や開発支援ツールの開発・販売と、エンジニアリングサービスを提供しております。「センシングソリューション事業」は、主に車載プリンタ、常温ハンディターミナル、耐環境ハンディターミナル、及び販売支援用ソフトウェアの開発・販売と、農漁業等のICT（情報通信技術）の遅れている市場に対してセンサネットワークシステムの提案をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は一般の取引条件と同様の価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		
	組込みソフトウェア 事業	センシングソリュー ション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,922,807	736,714	9,659,522
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,006	—	6,006
計	8,928,814	736,714	9,665,528
セグメント利益	737,884	25,205	763,090
セグメント資産	2,634,701	326,387	2,961,088
その他の項目			
減価償却費	53,208	6,189	59,397
のれんの償却額	5,610	—	5,610
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額	80,315	6,954	87,269

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		
	組込みソフトウェア 事業	センシングソリュー ション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	8,346,507	676,792	9,023,300
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,467	—	12,467
計	8,358,975	676,792	9,035,767
セグメント利益	638,544	24,554	663,098
セグメント資産	2,810,671	395,962	3,206,633
その他の項目			
減価償却費	73,871	5,103	78,974
のれんの償却額	935	—	935
有形固定資産及び無形固定資産の 増加額	57,123	5,103	76,164

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,665,528	9,035,767
セグメント間取引消去	△6,006	△12,467
未実現利益の調整額	△14,526	19,416
連結財務諸表の売上高	9,644,996	9,042,716

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	763,090	663,098
セグメント間取引消去	—	—
未実現利益の調整額	△14,526	19,416
連結財務諸表の営業利益	748,564	682,514

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,961,088	3,206,633
投資と資本の相殺消去	△23,170	△23,170
全社資産 (注)	3,748,799	4,287,436
連結財務諸表の資産合計	6,686,718	7,470,900

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	59,397	78,974	—	—	59,397	78,974
のれんの償却額	5,610	935	—	—	5,610	935
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	87,269	76,164	—	—	87,269	76,164

b. 関連情報

前連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一のため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社オーバス	2,301,363	組込みソフトウェア事業
ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社	1,134,781	組込みソフトウェア事業
株式会社デンソー	848,421	組込みソフトウェア事業

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一のため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社オーバス	2,558,871	組込みソフトウェア事業
ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社	1,107,862	組込みソフトウェア事業
株式会社デンソー	485,727	組込みソフトウェア事業

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報
前連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

(単位：千円)

	組込みソフトウェア事業	センシングソリューション事業	全社・消去	合計
当期償却額	5,610	—	—	5,610
当期末残高	935	—	—	935

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

(単位：千円)

	組込みソフトウェア事業	センシングソリューション事業	全社・消去	合計
当期償却額	935	—	—	935
当期末残高	—	—	—	—

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	252.11円	282.34円
1株当たり当期純利益金額	32.41円	33.23円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	659,326	676,285
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	659,326	676,285
普通株式の期中平均株式数(株)	20,341,361	20,349,964

(重要な後発事象)

該当事項はありません。